

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	平戸地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
平戸市	422070	1	H24～H26	H24
活性化計画の区域				
長崎県 平戸市 平戸地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
地域物産の販売量の増加	20.70%	8.74%	42.3%	

(コメント)

平成 23 年度にホダ木(菌床)生産工場の増築を行い、平成 24 年度に特用林産物生産施設 (菌床しいたけ生産施設) 7 棟と集出荷貯蔵施設 1 棟を整備し、平成 25 年度より本格的に増産体制をスタートさせたが、種菌の不良により、ホダ木(菌床)の腐れが発生し、計画どおりの収量があがらなかったことが、目標を下回る要因となっている。平成 26 年度に種菌の品種変更を行い、収量は回復傾向となっている。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
特用林産物生産施設	特用林産物生産施設 6 棟 A=1409.4 m <sup>2</sup>		平戸市森林組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
平戸市森林組合	平成 24 年度	平成 24 年度	平成 25 年 4 月 1 日
事業の効果			
この事業により、増産されるホダ木(菌床)が有効活用されるとともに、菌床しいたけの効率的・合理的な規模による低コスト生産体制が構築された。併せて、地域における雇用の創出(男性 2 人、女性 19 人)に繋がった。			

### 3 総合評価

(コメント)

計画目標の達成状況については、平成 25 年度に種菌の不良によりホダ木(菌床)の腐れが発生するなど不測の要因に影響を受け、達成できなかった。

しかし、種菌の品種変更を行うなど速やかな対応をとることで、収量増に転じている。また、地域における雇用の創出に大変寄与しており、地域活性化につながっている。

### 4 第三者の意見

(コメント)

種菌の活性不良等により 1 菌床当たりの単位収量が低下したため、生産量が目標に達しなかったが、地域雇用の確保や菌床価格の低減によるコスト削減等、一定の事業効果は見られており、菌床しいたけの産地形成とブランド確立に役立っている。

(長崎県森林組合連合会 業務第一課長 小川 透)